

# 駒ヶ根市の日本語教育の取り組みから

長野県日本語教育大会 2021.2.24

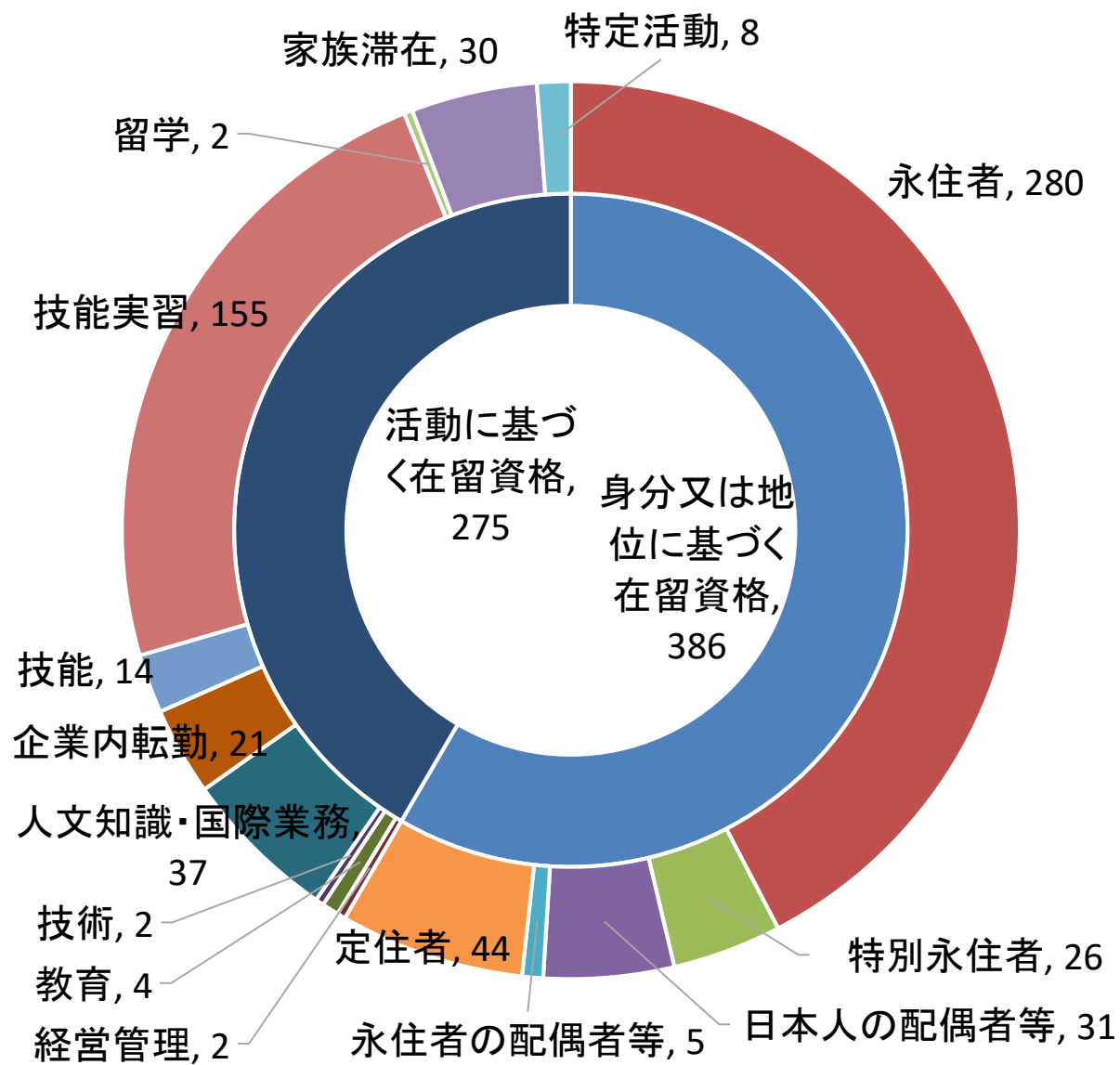
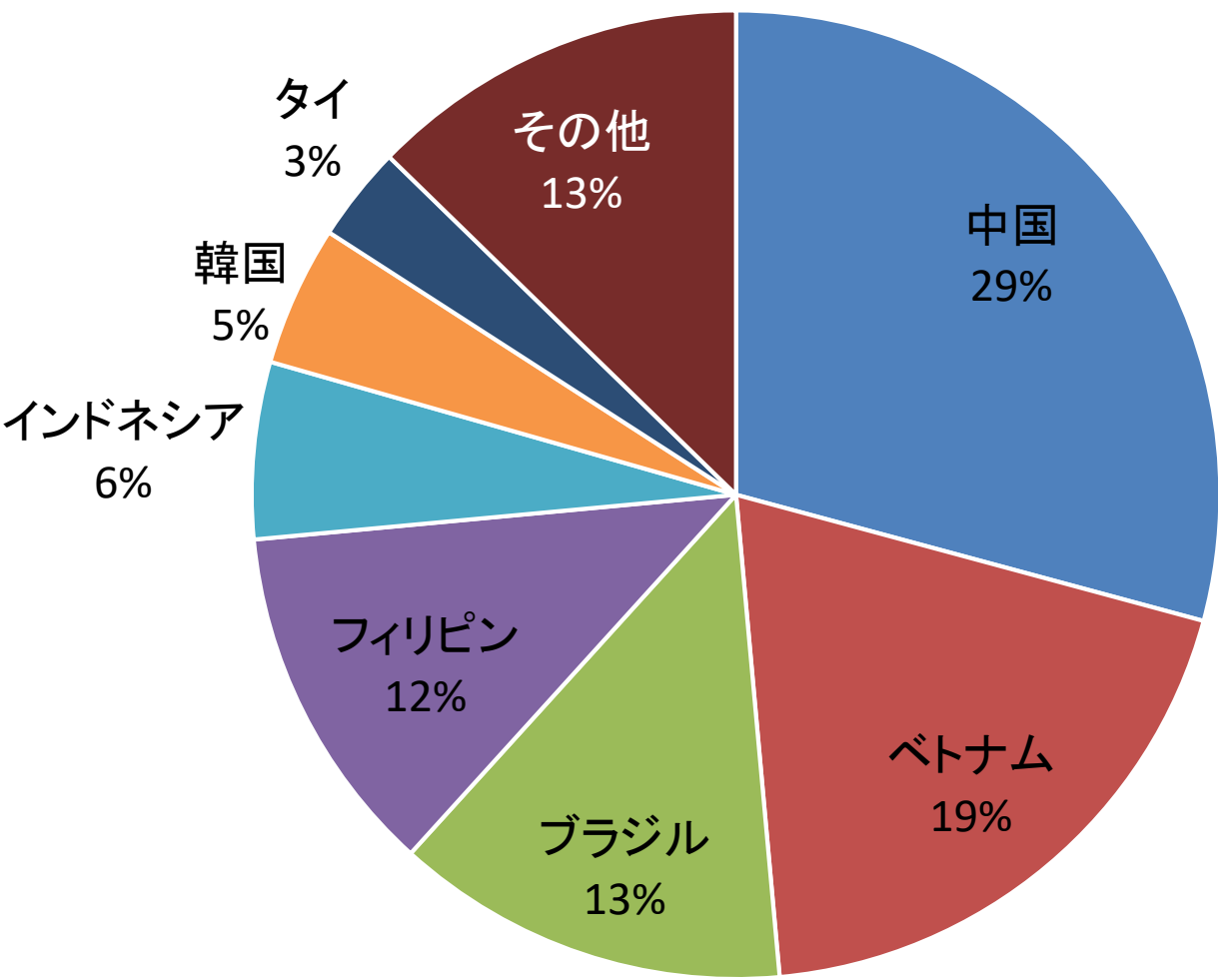
1. 外国籍市民の状況
2. 多文化共生のまちづくりの経過
3. 日本語教育事業の状況
4. 長野県モデル事業
5. 今後の方向性

駒ヶ根市 総務部 企画振興課

# 駒ヶ根市外国籍市民の状況 (R2.4.1時点)

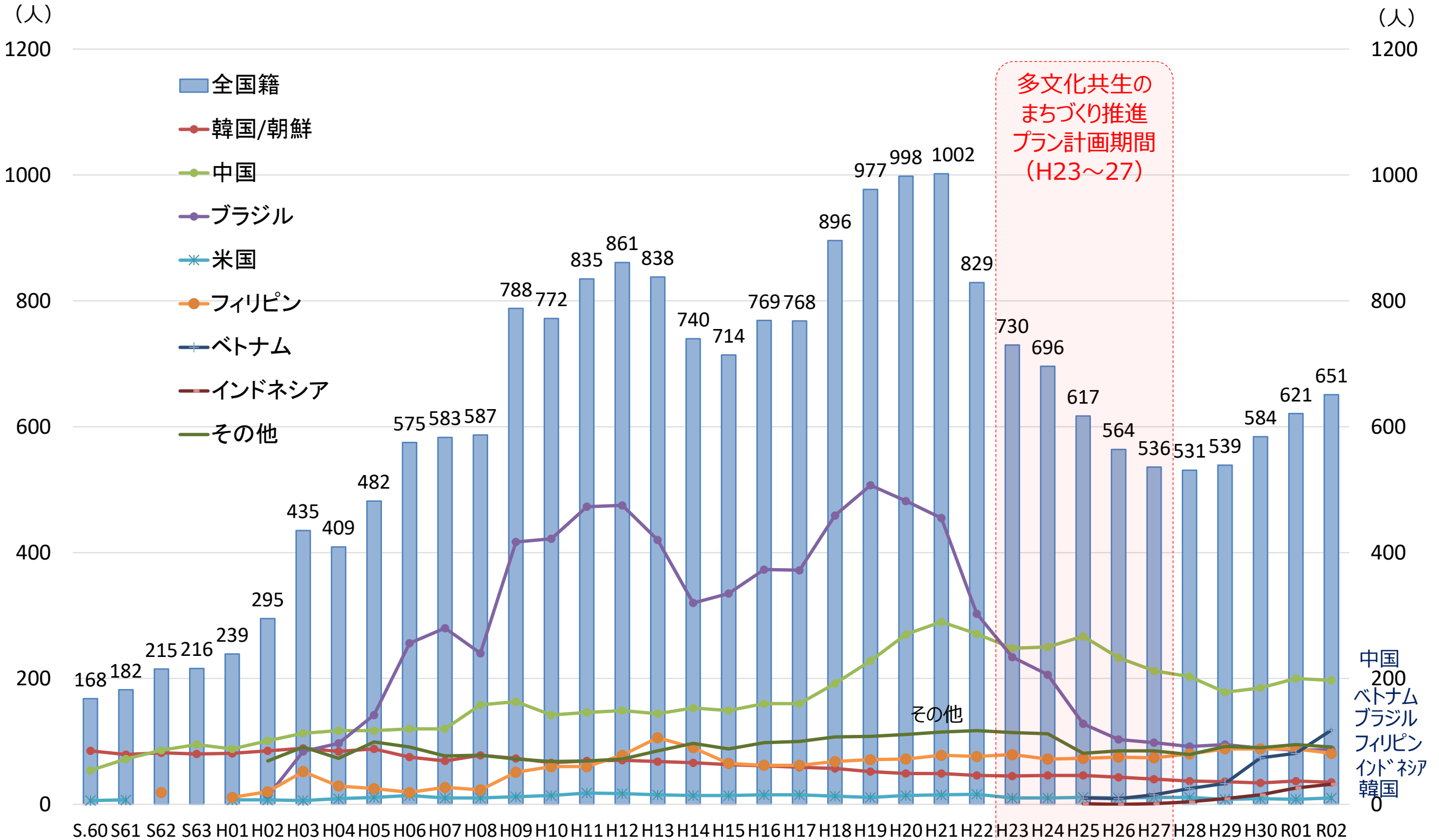
◆主な国籍別市民の割合

◆在留資格別人数



外国籍市民数 R2.4.1	中国	ベトナム	ブラジル	フィリピン	インドネシア	韓国	タイ	その他	計
	193	128	87	78	39	31	21	84	661

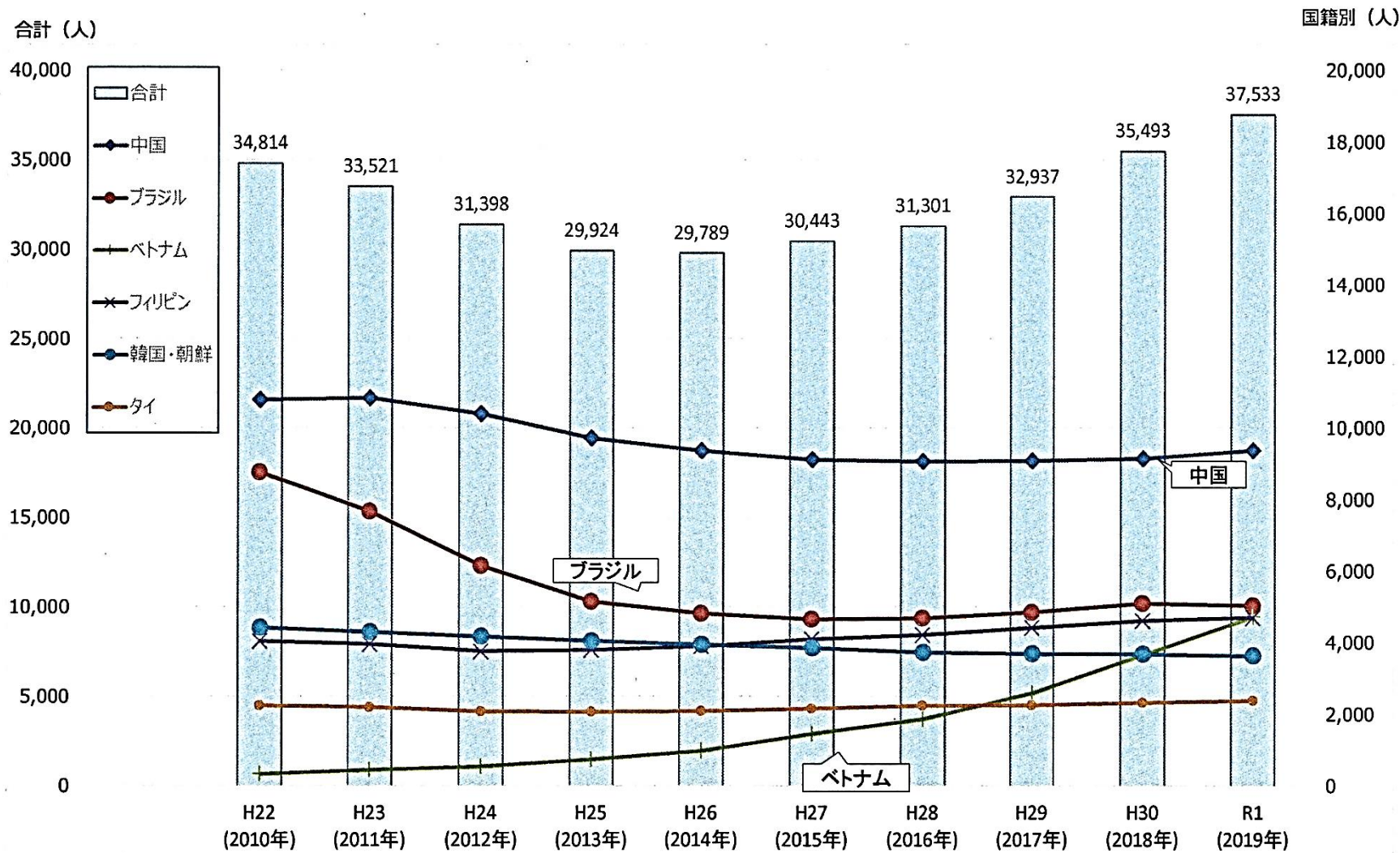
# 駒ヶ根市外国籍市民数の推移



# 長野県内に在住する外国人の推移 (2019.12末時点)

- 平成27年（2015年）から5年連続の増加
- 国籍・地域別では、ベトナムが4,722人となり前年の5位から3位へ上昇した
- 在留資格別では、永住者（35.4%）に続いて技能実習（18.6%）、定住者（10.3%）の順

市町村別外国人住民数及び総人口に占める割合



	市町村	外国人数	人口割合
1	松本市	4,111	1.72%
2	上田市	4,042	2.58%
3	長野市	4,016	1.07%
4	飯田市	2,301	2.29%
5	伊那市	1,817	2.68%
6	安曇野市	1,300	1.33%
↓	↓	↓	↓
10	白馬村	1,113	11.74%
↓	↓	↓	↓
13	箕輪町	889	3.55%
↓	↓	↓	↓
18	駒ヶ根市	651	1.99%
↓	↓	↓	↓
23	辰野町	436	2.25%
	県全体	37,533	1.80%

※長野県ホームページより

# 多文化共生のまちづくりの背景

## 1. 背景

- ・ 平成2年の入管法改定、ブラジル人を中心に日系定住外国人が増加
- ・ 平成19～20年のピーク時に1,000名超、市民の約3%
- ・ 派遣や請負の雇用形態で地域経済を支え活力をもたらす

## 2. 外国籍市民の状況はどうだったのか

- ・ 永住権取得など定住希望
- ・ リーマンショック（H20）以降、従来の形での雇用が不可能
- ・ 日本語によるコミュニケーションができないこと、外国籍市民に対する差別偏見に起因する、就職、教育、子育て、住宅、納税、医療、地域等で課題が顕在化

## 3. 多文化共生推進の必要性と意義

- ・ 人口減少、少子高齢化が進展、将来にわたり活力ある地域を築くためには、**外国籍市民も地域社会の構成員として、能力を発揮できるような地域づくりが必要**
- ・ 多文化共生は、国際人権規約や国の外国人受入方針にも合致

⇒ 「多文化共生のまちづくり推進プラン」を策定

# 多文化共生のまちづくり推進プラン（計画期間：H23～H27）

## 1. 基本理念

「みんなで築く愛と誇りと活力に満ちた多文化共生のまち駒ヶ根」

## 2. 重点施策（12施策）

分野	重点施策	主な施策
I コミュニケーション	① 日本語を母語としない人も理解しやすい情報発信 ② <b>日本語を母語としない市民に対する効果的な日本語教育</b>	広報、多言語化 <b>日本語教育システム</b>
II 生活	③ 外国籍の子どもも安心して教育を受けられる環境整備 ④ 外国籍の親も安心して子育てができる環境整備 ⑤ 外国籍市民の緊急時や災害時の対応 ⑥ 外国籍市民も安心して住まいを見つけて生活できる環境整備 ⑦ 外国籍市民の能力をいかした地域産業の活性化 ⑧ 外国籍市民も安心して医療機関を利用できる体制整備 ⑨ 外国籍市民も健康づくり ⑩ 支えあいの地域づくり	相談員、言語指導 相談体制、親子交流 情報発信、防災訓練 生活情報、自治会 雇用主理解、調査 医療機関連携、通訳 啓発、健康診断 相談窓口、ボランティア
III 多文化共生の地域づくり	⑪ 多文化共生についての理解促進 ⑫ 外国籍市民の地域社会への参加	職員研修、地域啓発 交流機会創出

# 地球人ネットワークinこまがね (市民団体)

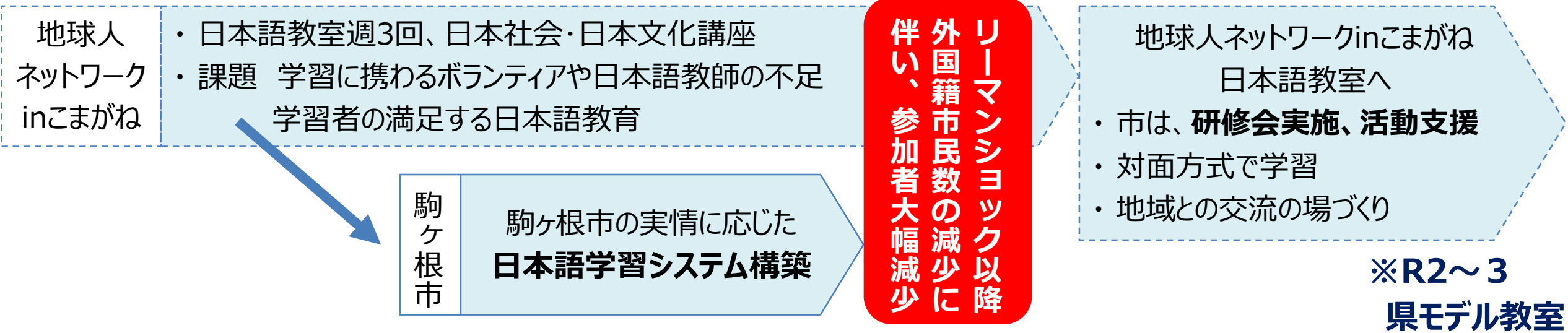


<p>設立の経緯</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉や宗教、国籍にとらわれず、お互いの文化や個性を尊重しつつ、外国籍住民と地域住民との相互理解を図り、もって心触れ合う暮らしやすい地域社会を目指すことを目的として、2006年（平成18年）に設立されたボランティア団体です。</li> <li>・ 会員 167名（2020年3月末時点）</li> </ul>
<p>活動概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 外国籍住民等の<b>日本語習得</b>に関すること（<b>日本語教室</b>）</li> <li>② さまざまな国の文化を学び接することのできる<b>交流事業</b>に関すること</li> <li>③ 外国籍住民等の日常生活に必要な生活情報を学ぶ機会の提供に関すること</li> </ul>
<p>日本語教室</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>参加者の語学力とニーズに応じたボランティアによる日本語学習（対面方式）</b></li> <li>・ 毎週火曜日（PM1:30～3:00）水曜日（PM7:00～8:30）土曜日（AM10:00～11:30）</li> <li>会場：ふれあいセンター</li> <li>・ 生活情報について学ぶ講座</li> <li>・ 日本語ボランティアのスキルアップ講座</li> </ul> <p>地球人NWinこまがねが主体、駒ヶ根市が連携し、地域の外国籍住民への日本語教育事業を進めている。</p> <div data-bbox="1868 1212 2536 1712" data-label="Image"> </div> <p>日本語教室の様子</p> <p>(※地球人ネットワークinこまがねホームページより抜粋)</p>

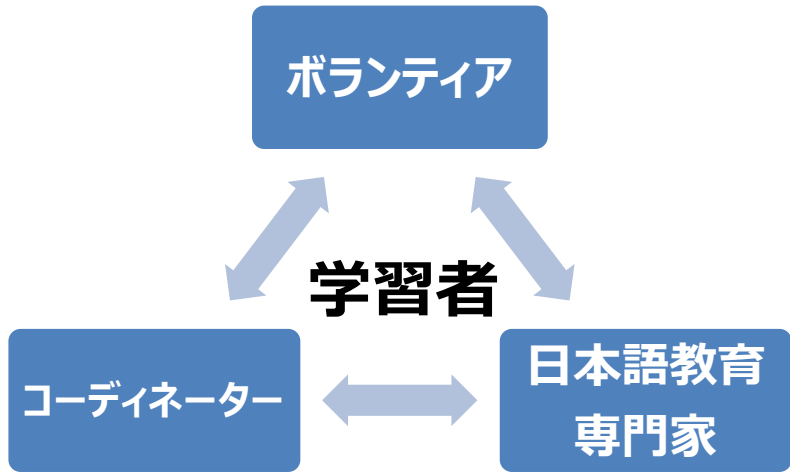
# 駒ヶ根市日本語教育事業の経過

## ○ 日本語教室

平成20年                      平成23年                      平成25年                      平成27年                      平成30年                      令和2年



## ○ 日本語学習システム（※文化庁委託事業等活用）



- (内容)
- ・ 学習者のレベルごとのカリキュラムに対応した日本語教室開催
  - ・ 日本語ボランティア研修
  - ・ 日本語教育を行う人材育成
  - ・ 学習教材の作成





# 地球人ネットワークinこまがね 日本語教室参加者の推移

実施年度	H27	H28	H29	H30	R01
延べ参加者数(人)	400	469	613	790	810
開催回数(回)	94	100	126	127	120

(※)R02は、コロナ禍もあり、週2回開催、その内1回は県モデル教室に位置付け実施。



日本語教室の様子

駒ヶ根市ホームページより



スピーチコンテスト

地球人ネットワークinこまがねより提供

# 日本語教室の成果・課題（市）

## 1. 成果

- ① 学習者の日本語習得の向上（アンケート結果などから）
- ② 学習者と日本語ボランティアとの関係構築 ⇒ 継続性、居場所
- ③ 生活情報講座や地域イベント参加 ⇒ 地域住民との交流

## 2. 課題

- ① 日本語教育コーディネーター不在 ⇒ ボランティアのスキルアップ、専門人材の必要性
- ② 学習者増への対応 ⇒ 学習環境（会場、日本語ボランティアの確保）  
多様な学習ニーズ・要望への対応



ボランティアの負担増加

- ③ 多文化共生に対する市民理解の促進
- ④ 企業との連携（技能実習生）
- ⑤ 行政の支援や関わり方

# 令和2年度長野県モデル事業

## 1. モデル日本語教室（地球人ネットワークinこまがねをモデル教室として実施）

### （1）課題への対応

- ・ 専門人材

⇒ 派遣された日本語教育人材が役割を分担し取り組んだ

⇒ 既存ボランティアとの連携が図られ、学習者含め関係構築に繋がった

- ・ 運営方法

⇒ 体系的なカリキュラム提供、1対複数の対応、効果的な指導方法を学んだ

⇒ コロナ禍でオンライン教室も効果的な方法であった

### （2）モデル教室を通じて

- ・ モデル教室を参考にしながら、駒ヶ根らしい日本語教育のあり方を探る

- ・ 県人材バンク事業の活用

- ・ 地域の中から日本語交流員など専門人材を育成する取り組み

# 令和2年度長野県モデル事業

## 2. 日本語交流員養成初期研修

### (1) 日本語交流員の活動について

- ・ 学習支援以外での地域とのつながりの場（活動）をつくっていくことが必要
- ・ 地域の日本語教室を軸に、日本語ボランティアとして活動されている方の中から、こうした人材が出てくるのが望ましい

⇒ 例) 地球人ネットワークinこまがねなど、既存交流事業との連携

- ・ 各地域で日本語交流員など専門人材を育成する取り組み
- ・ 市の多文化共生施策、外国人の活躍の場づくり

## 3. 多文化共生のための防災講座

- ・ 外国人市民のための防災・感染対策ハンドブック、意識啓発

## 4. やさしい日本語普及講座

- ・ やさしい日本語活用（メール配信など）、企業担当者参加



(対応言語)  
 やさしい日本語  
 英語  
 中国語  
 ポルトガル語  
 ベトナム語  
 タガログ語

※市HP掲載、  
 企業・団体等  
 を通じ配布

こまがねし 駒ヶ根市  
 がいこくじん む 外国人向け  
 「やさしい日本語」  
 にほんご めーる さーびす メールサービス


市が出す災害などの情報を「やさしい日本語」のメールで  
 もらうことができます。

【もらえるメールの内容】


- ① やさしい日本語による簡単な情報
- ② 詳しい情報がある市のホームページ(外国語)のリンク

※Google翻訳を使っているため、正確に翻訳できない場合があります。  
 ※一部ブラウザでは外国語で見ることができない場合があります。

送られるメールの例




外国語ホームページの例



**登録方法**

1. t-komagane@sg-m.jp  
に空メールを送る
2. 来たメールの中の  
URLをクリック
3. 「外国人向けやさしい  
日本語」と住んでいる  
ところを選んで登録



詳しい登録方法は市のホーム  
ページにあります。

駒ヶ根市 企画振興課 地域振興係  
 0265-83-2111内線242 FAX 0265-83-4348  
 kizai@city.komagane.nagano.jp



防災講座

# 多文化共生施策の位置づけ（市総合計画）

## 施策7-2-2 国際交流と多文化共生の推進

### めざす姿

●国籍を問わず、市民が相互に協力して暮らしている。

### 課題と展望

- グローバル化がますます進展し、国家の枠組みを越えた相互依存関係も深化しています。人、物、金、情報が国を越えて一層流動する時代を迎え、地球規模で物事をとらえるとともに、地球上のあらゆる人々と協力して平和と幸福を追求することが必要不可欠となっています。
- こうした中、当市ではこれまで築いてきた国際交流の実績を背景としつつ、蓄積された経験や技術を世界の平和や発展のために積極的に活用するとともに、世界各地の知見を当市の発展に結び付けていくことが大切です。
- 当市には、全国2カ所しかない青年海外協力隊訓練所があるとともに、青年海外協力隊OBで組織された青年海外協力協会の本部が移転されたことから、これらと連携したまちづくりを推進していくことが大切です。
- 当市にも外国籍市民が生活していますが、国籍や民族などの違いにかかわらず、多様な価値観を地域の活力として活かすことができる新たなまちづくりが求められています。
- グローバル化が進む中で、子どものころから広い視野を持ち、異なる文化、言語、価値を越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力や協調性を高めていくことは、国際社会を生きていくうえで大変重要となってきています。



みなこいワールドフェスタ国際広場



大使村まつり

### 取組の方向と主な事業

#### 1 JICA（青年海外協力隊訓練所）やJOCA（青年海外協力協会）と連携したまちづくりを進めます。

青年海外協力隊訓練所や青年海外協力協会、協力隊を支援する市民団体などと連携を深め、市民が主体の国際理解教育、国際交流、国際協力活動を推進します。

### 【主な事業】

- 国際交流・協力団体の支援（みなこいワールドフェスタなど）
- 大使村プロジェクト
- JICAボランティアとの交流（学校交流、地域実践活動の支援）

#### 2 多文化共生を推進します。

外国籍市民も含めた市民が安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを推進します。

### 【主な事業】

- 外国人相談窓口、翻訳、日本語学習の支援
- 外国籍市民の緊急時や災害時の対応

### 達成目標

指標名	当初 (2012)	現状 (2017)	目標値 (2023)	備考
外国人にやさしいまちづくりが行われている。	3.00 ポイント (2011)	2.94 ポイント	3.24 ポイント	市民満足度調査の満足度（ポイント）

注1) 市民満足度調査:まちづくりの指標として、2年に1度実施している市民意識調査。調査項目について、重要度と満足度を5段階（最低1から最高5まで）で調査。

### 役割分担

主体の分類		主体の役割
行政	駒ヶ根市	○関係機関や市民団体などと連携し、国際交流を推進します。 ○外国語窓口などの多文化共生事業を推進します。 ○市民やボランティアなどの多文化共生事業を支援します。
	県(国)	○多文化共生を政策的に推進します。
市民など	個人(家庭)、市民団体、関係団体など	○国際交流イベントの開催・協力・参加、国際貢献活動に協力します。 ○市民として多文化共生事業に積極的に参加します。
	JICA、JOCA	○地域の国際化に向けた市民の取組を支援します。

# 日本語教育の充実/多文化共生の地域づくり

## 1. 地域の日本語教育の充実（課題への対応）

- ・ 人材の活用・育成、活動の場づくり
- ・ 地球人ネットワークinこまがねなどの市民団体との連携

## 2. 多文化共生の地域づくり

- ・ 情報発信 ⇒ やさしい日本語活用
- ・ 緊急時・災害時の対応 ⇒ 外国人向けメール配信、支援体制の仕組み
- ・ 孤立防止 ⇒ 地域住民との交流、つながり合う機会
- ・ 相談体制 ⇒ 現在の相談窓口の充実
- ・ 地域住民の外国籍市民受入れの意識醸成

## 3. 生涯活躍のまち構想 「ごちゃませのまちづくり」

- ・ 誰もが活躍できる地域共生社会（ごちゃませ）の実現

# (取組例) 大使村プロジェクト・MWF

～様々な機会に市内に在住する外国人を巻き込む～



第26回 JICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所開設40周年記念

## みなこいワールドフェスタ

10月19日(土) 地球の料理教室  
 時間: 9:30~13:00 会場: 中川村中川文化センター 調理実習室  
 定員30名 事前申し込み必要 (参加費500円)

10月20日(日) 地球のエンターテインメントの話 & デュオ・コトリーナコンサート  
 時間: 19:00~21:00  
 会場: 飯島町飯島町文化館 小ホール  
 定員100名 事前申し込み必要 (無料)

10月20日(日) 駒ヶ根訓練所開設40周年記念 『トークイベント』  
 ～日本も元気になる協力隊～  
 時間: 13:30~15:00 会場: JICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所  
 定員100名 事前申し込み必要 (無料)

10月21日(月) 地球のステージ  
 時間: 19:00~21:00  
 会場: JICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所  
 定員50名 事前申し込み必要 (無料)

10月23日(水) 映画『クロスロード』上映会  
 時間: 18:00~20:00  
 会場: 駒ヶ根市総合文化センター 視聴覚ホール  
 定員40名 事前申し込み必要 (無料)

### 「ひと・まち・せかい」が つながる

## こまがね国際広場 & 第2回こまがね大使村まつり

10月27日(日) 10:00~15:00  
 駒ヶ根駅前 広小路・銀座商店街

4市町村で開催!  
 みなこい  
 …宮田村  
 …中川村  
 …駒ヶ根市  
 …飯島町

見でい聞いて! 知って!  
 ワールドブース  
 国際交流と協力の  
 テント村

ポイントを集めながら  
 “世界”を楽しむ  
 スタンプラリー  
 テーマ「しおりで  
 世界のことごと  
 つながろう」

貴重な機会に  
 交流しよう!  
 各国大使ブース  
 & ステージ  
 大使まつりだけの  
 スーツステージ出演  
 があるよ!

歌っちゃおう!  
 踊っちゃおう!  
 食べてみよう!  
 飲んでみよう!  
 ワールドステージ  
 世界を感じさせる  
 パフォーマンス

ぜひ食べにきて  
 ワールド  
 レストラン  
 毎年大好評!  
 カレーとスリック

申込先  
 駒ヶ根協力を育てる会 事務局  
 駒ヶ根市所 公民館2階  
 TEL. 0265-83-2111 (FAX244)  
 kizai@city.komagane.nagano.jp

駒ヶ根市ホームページより